

幌小っ子だより

幌別小学校教育目標

- すすんで学びよく考える子
- 互いに助けあい思いやる子
- 丈夫な体でたくましく生きぬく子

(昭和62年3月改訂)

登別市立幌別小学校 学校だより

第6号

令和7年 8月27日

2学期の始まりにあたって ～ 何度でも立ち上げられる心を育む ～

校長 松田 周一

いつもより長い夏休みが終わり、8月27日(水)より2学期がスタートしました。事故なく、子どもたちの元気な顔を見ることができ、教職員も安心しております。改めて、保護者・地域の皆様に感謝申し上げます。

さて、前期の児童アンケートの結果で、一つ気がかりな点がありました。「自分には良いところがあると思いますか」という「自己肯定感」についての質問に対し、肯定的な回答が76.6%にとどまったことです。

自己肯定感とは、ありのままの自分を大切に思い、「自分には価値がある」と感じる気持ちです。この土台がしっかりしていると、子どもたちは失敗を恐れず、新しいことに挑戦する勇氣をもつことができます。たとえ壁にぶつかっても、「次はどうすればいいだろう?」と前向きに考え、試行錯誤しながら乗り越える力が育つのです。めまぐるしく変化する現代を自分らしく生きていくためにも、この自己肯定感を育むことが、学校教育において重要なテーマの一つであると捉えています。

もちろん、ご家庭での働きかけも欠かせません。お子さんの「できたこと」を具体的に褒めてあげたり、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたりするだけでも、子どもたちは「自分は認められている」「役に立てた」と感じ、自己肯定感を高めることができます。

そして何より、失敗した時こそ、自己肯定感を高める最大のチャンスだと考えるのです。テストで点数が悪かった時、友達とケンカをしてしまった時、「どうして失敗したの?」と責めるのではなく、「大丈夫だよ。次はどうしたらいいか、一緒に考えてみようか」と声を掛けてみてください。子どもは失敗から学び、何度もやり直すことができるのだと知ること、で、「失敗しても大丈夫なんだ」という安心感を得られます。この安心感が、自己肯定感を育み、「またやってみよう!」という次への挑戦意欲につながるのです。

学校でも、一人一人の良いところを見つけ、お互いを認め合う時間を大切にしていきます。自己肯定感の高い子どもたちは、やがて周りの友達の良いところも見つけ、認め合える、温かい心を持った人間に育っていくと信じています。2学期もよろしくお願いいたします。

駒踊り【3年生】

- ① 8/29(金) 10:20～
- ② 9/3(水) 10:20～
- ③ 10/2(木) 10:20～
- ④ 10/14(火) 10:20～



本校3年生が駒踊りにチャレンジします。左記の日程で取組を行います。ご一緒に指導のお手伝いをしていただける方がいらっしゃいましたら教頭までご連絡ください。

※日程が変更になる場合がありますので、事前の連絡をお願いいたします。

10月18日(土)学習発表会にて発表予定